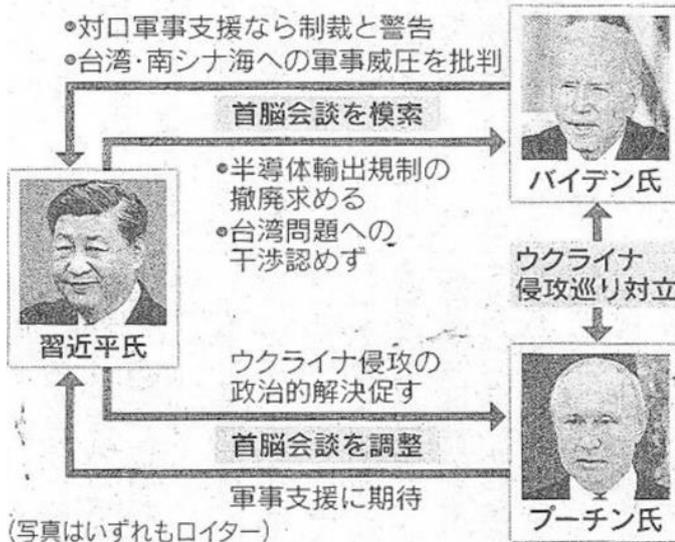


- 09/20・中国外交、米ロ両にらみ 今秋首脳会談巡り駆け引き <1>
- ・カナダ国内で印シーク教独立指導者 6 月死亡「殺害にインド関与」 トルドー首相
外交官追放 インドも対抗措置
 - ・「侵略者倒すために団結を」 ウクライナ大統領 国連総会で演説
 - ・家計の金融資産 2115 兆円 最高を大幅更新 (前年同期比 4.6%増) 現預金が 52.8%
- 09/21・訪日中国人、戻り鈍く 8 月、コロナ前の 36%止まり 全体は 215 万人、85%回復
- ・対中輸出、8 月 1 割減の 1.43 兆円 3 ヶ月連続 1 割減 食料品は 41%減の 141 億円
 - ・米イスラエル首脳会談 ネタニヤフ政権の司法改革不満 サウジとの関係改善意欲
 - ・イギリス脱ガソリン車 2030 年から 35 年に延期 スナク首相「現実的な手法に」
 - ・旧ソ連、紛争再燃の火種 アゼルバイジャン、アルメニアとの係争地で軍事行動
停戦は合意 ロシアの影響力低下
 - ・FRB (米連邦準備理事会)、FOMC (連邦公開市場委員会、20 日) で金利据え置き
2 会合連続据え置きも年内追加利上げ見込む 遠のく利下げ転換 インフレ懸念拭えず
- 09/22・「強すぎる米経済」に死角 FRB、守備範囲外のリスク列挙 <2>
- ・ストや原油高を警戒 市場、楽観シナリオを修正 世界で株下落
 - ・円の実力 (実質実効為替レート) 過去最低 8 月 円安響き 1970 年を下回る
 - ・消費者物価 3.1%上昇 8 月 12 ヶ月連続 3%以上 伸び率高止まり
 - ・穀物輸入巡り対立激化 ウクライナ、輸入制限に「ロシア手助け」非難
ポーランド首相、武器支援停止に言及
 - ・米、ウクライナ汚職検証 共和党の支援慎重論に対処
- 09/23・日銀、金融政策維持 総裁、早期修正観測にけん制「到底決め打ちできず」 <3>
- ・円安など不確定要素 賃上げ見極め
 - ・サービス価格、上昇鮮明 2 ヶ月連続 2%超え 8 月、30 年ぶり <4>
宿泊、運輸・運送など人手不足が押し上げ
 - ・米、ウクライナ支援に壁 下院共和党、歳出増に反発 ねじれ議会、政府閉鎖が影
- 09/24・ロシア産エネ続く影響力 石油輸出、アフリカなどへ 3 倍 <5>
- ・軽油、輸出停止で価格急騰 原油 100 ドル台視野 経済制裁に限界
- 09/25・消えぬ円安圧力 強まる介入警戒 日米金利差、10 ヶ月ぶり高水準 <6>
- 09/26・日産、30 年に欧州全 EV 化 新車販売 規制に前倒し対応
- ・中国 EV 勢、欧州生産拡大 EU、中国政府補助金に批判
 - ・米国債 格下げ圧力 政府機関閉鎖なら ムーディーズ警告
円安が加速、一時 148 年後半

<1>

米中口の外交的駆け引きが活発に



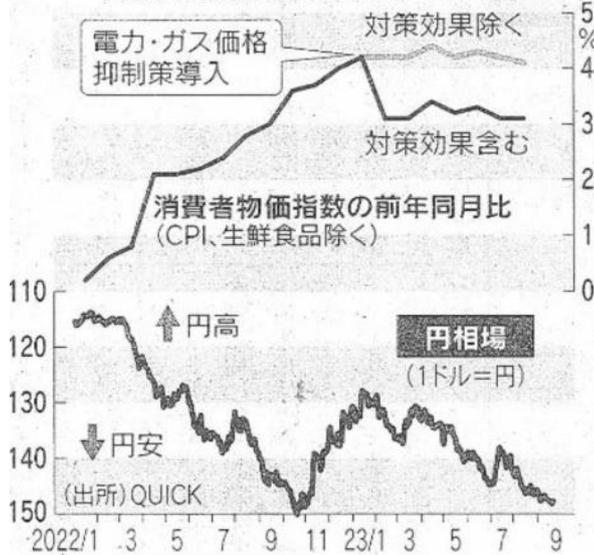
<2>

パウエル議長が触れたリスク

- ▼インフレ長期化要因
 - 自動車業界のストライキ
 - 原油価格の高騰
- ▼景気悪化要因
 - 政府機関の閉鎖
 - 学生ローンの返済再開

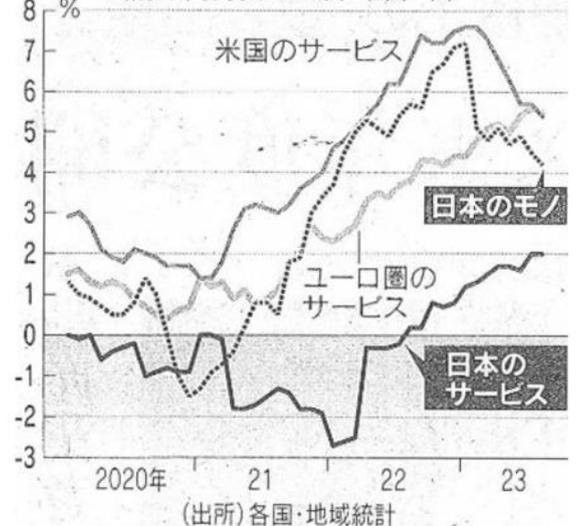
<3>

円安が物価を押し上げてきた



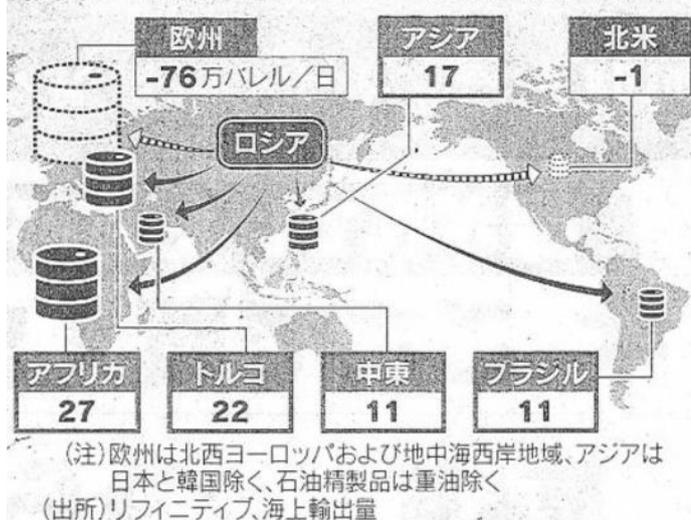
<4>

日本はサービスが上昇しモノは一服
(前年同月比の上昇・低下率)



<5>

欧米の禁輸以降も第三極に石油精製品輸出を
拡大していた(過去7カ月のロシア輸出量の前年比増減幅)



<6>

金利差の拡大とともに円安が進む

